

## 岐阜県・三重県との懇談会

中経連は、岐阜県・三重県との懇談会を開催した。概要は以下のとおり。

開催日	参加者	
8月2日(金) 岐阜県との懇談会	岐阜県	古田知事、平木副知事、河合副知事をはじめ9名
	中経連	豊田会長、竹中副会長、村瀬副会長をはじめ12名
8月5日(月) 三重県との懇談会	三重県	鈴木知事、渡邊副知事、稲垣副知事をはじめ11名
	中経連	豊田会長、上田副会長、水野副会長、佐々木副会長、小川副会長をはじめ11名

### 岐阜県との懇談会

冒頭挨拶で豊田会長は、「『岐阜県IoTコンソーシアム』や『IAMAS』とナゴヤイノベーターズガレッジとの連携を図り、新たな成長産業と一緒に創出していきたい」と述べた。また、「リニア中央新幹線の開業に向け、岐阜県駅の効果を周辺地域へ波及させるまちづくりや、名古屋駅の戦略的



な活用について、一緒に知恵を出し合っていきたい」との考えを示した。

古田知事は、全国知事会などにおける地方創生の取り組みに加え、深刻化する人手不足に向けた多様な主体の活躍支援、初等教育からの切れ目ない産業人材の育成、戦略的なぎふブランドづくりなど、岐阜県の主な取り組みを紹介した。また、豚コレラについて、『農場を守る対策』と



『野生イノシシ対策』の両方に引き続き全力をあげて取り組んでいく」と述べた。

その後の自由懇談では、事業承継やイノベーションにおける成功事例をはじめとする情報共有の重要性、

広域的な地域づくりに向けた協議会のあり方などについて意見交換を行った。

### 三重県との懇談会

冒頭挨拶で豊田会長は、中小企業の事業承継、イノベーション、中部圏の将来ビジョン、防災・減災などの重点課題に触れ、「三重県との連携を一層強化し、具体的な活動につなげていき



たい」との意向を示した。また、「名古屋から東紀州エリアへの行政区域を越えた広域観光ルートづくりにも一緒に取り組んでいきたい」と述べた。



鈴木知事は、「最優先課題として全力で取り組んでいる防災・減災対策について、一層の連携をお願いしたい」と述べるとともに、「スーパー・メガリージョンの形成に向けて、ハード面のみならず、コンテンツについても中部圏の魅力を高められるよう中経連や近隣自治体と連携していきたい」との考えを示した。

その後の自由懇談では、データサイエンスの取り組み強化、自動車の電動化や空飛ぶ車の開発、中小企業のBCP策定や港湾の耐震化促進などの防災・減災対策の推進、官民が連携した事業承継対策の推進、広域的な地域づくりに向けた協議会のあり方などについて意見交換を行った。

(企画部 岡戸 信之)